

福祉サービス第三者評価結果報告書(平成30年度)

年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構  
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 330-0072

所在地 埼玉県さいたま市浦和区領家2-13-9-103

評価機関名 株式会社シーサポート

認証評価機関番号

機構 13 - 223

電話番号 048-711-1020

代表者氏名 代表取締役 白井豊



以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	白井豊	経営	H0405018
	②	石崎志津子	福祉	H1601062
	③	工藤堯子	福祉	H1302018
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	アウル宮前保育園			
事業所連絡先	〒	168-0081		
	所在地	東京都杉並区宮前2丁目11番11号		
	TEL	03-5941-5112		
事業所代表者氏名	青木るみ子			
契約日	2018年 10月 1日			
利用者調査票配付日(実施日)	2018年 10月 13日			
利用者調査結果報告日	2019年 2月 3日			
自己評価の調査票配付日	2018年 10月 13日			
自己評価結果報告日	2019年 2月 3日			
訪問調査日	2019年 2月 21日			
評価合議日	2019年 3月 6日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	・利用者調査にあたっては、プライバシー保護のため専用のボックスの設置・評価機関による回収を行った。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。  
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2019年 3月 18日

事業者代表者氏名

社会福祉法人天寿園会  
アウル宮前保育園  
園長 青木るみ子



No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	本物に触れる・多様な経験をすることで子どもたちの可能性を引き出すことに注力がなされています
	内容	年に4回の芸術鑑賞会への参加、併設の高齢者施設との頻なる交流、外部講師を招いての国語教室・英語活動、子どもたちによる給食づくりなど子どもたちが本物に触れる・多様な経験をすることで興味や関心を引き出せるよう取り組んでいます。また遊具に工夫が凝らされた園庭での活動・近隣の大小様々な公園への散歩等恵まれた環境を活用して思い切り戸外であそぶことにも注力がなされています。
2	タイトル	保育が長時間に渡る場合を含め、子どもの安全と安心を最優先した環境を形成しています
	内容	0歳、1歳の部屋は量が敷かれており、ゆったりと過ごすことができる十分なスペースが確保されており、またオートロック・防犯カメラの設置などプライバシーとセキュリティが保全されています。医務室の設置、看護師の配置により体調を崩した子どもに対しても適切な対応がとれるよう体制が構築されており、保育が長時間に渡る場合であっても遊び等に飽きないよう職員が工夫した取り組みに努めています。事故防止・感染症対策等緻密な対策から本園が子どもの安全と安心を最優先していることを理解できます。
3	タイトル	子どもたちの将来を見据えた保育が実践されています
	内容	思い切り遊ぶ・きちんと話を聞くなど場面ごとにメリハリを大事にした保育を実践しています。午睡時のパジャマの着用については、着脱を覚えることを主眼として行われており、中履きの使用等についても保護者に対して子どもたちの成長を願う園の思いを説明した上で実施しています。列をつくる、挨拶をする、整理整頓をする、エチケットに配慮するなど決まりやルールを教え、就学以降の子どもたちの将来にとって役立つことを実践しています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	給食時等異年齢保育の広がりを目標としています
	内容	保育室はクラスごとに壁で仕切られている部分と空間を共有している部分とが共存した工夫した造りとなっており、クラスに閉じこもらない保育を実践しています。また定期的に縦割り保育を実施しており、異年齢に対する優しさやいたわりを培い、生活する中で人間関係を構築できる保育を目指しています。来年度は、給食を縦割りで行う機会を増やすことも検討しており、異年齢保育を更に広げていく意向を持っています。
2	タイトル	保護者および就業先への理解浸透のため、慣らし保育のモデル・プログラムの策定を検討しています
	内容	入園時には子どもたちに安全・安心に過ごしてもらえること、保護者に寄り添う支援を念頭に安定した園運営が心掛けられています。特に入園当初の慣らし保育については、予定をたて保護者の就業等一人ひとりの状況を考慮し、柔軟な対応を心がけています。方針としては継続するものの、保護者へのわかりやすさや就業先の理解を得るために慣らし保育のモデルやプログラムを作成することも検討しています。
3	タイトル	実習生の受け入れ等に注力する予定をもっています
	内容	個人情報保護、事故防止等が定められたボランティア受入規程が設置されており、受入体制が整備されています。来年度は開園から3年度目を迎え、実習生の受け入れなどに注力する予定をもっています。地域貢献の一つとして次代を担う保育者の育成も期待されます。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-9	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている
タイトル①	併設の高齢者施設との交流が日常的に行われています	
内容①	介護保険地域密着型サービスと併設されており、地域交流・世代間交流を重視したコンセプトを掲げています。高齢者施設との複合施設としてすぐに交流ができる・身近に高齢者の生活を感じられる環境があり、高齢者施設の運営にも携わるスペシャリストが園の管理に参画していることから無理のない交流・適切な対応がなされています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-1-1	利用希望者等に対してサービスの情報を提供している
タイトル②	保護者にわかりやすいよう写真入りの解説を付すなど園のしおりを改訂しています	
内容②	入園者だけでなく希望者に対しても入園のしおりを配布しており、入園にあたっての心配に対して配慮するよう努めています。入園のしおりについては、保護者が準備する持ち物について写真入りの解説をつけるなどの変更が加えられています。またしおりと一緒に昨年受審した福祉サービス第三者評価の結果についても配布し、園への理解が深まるよう努めています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	1-1-1	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している
タイトル③	職員の成長と尽力により園の独自性の確立が図られています	
内容③	開設より2年度が経過する中で、特にリーダーを中心とし、1年を踏まえた計画性と自分たちで話し合う土壌が形成され、職員の繋がりが出来てきたことを実感しています。開設より1年目は法人の既設置園の意見を参考にしていますが、昨年度の経験や環境の違いを踏まえて本園独自の保育が形成されています。	

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
	サブカテゴリー1	
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している <span style="float: right;">評点(0000)</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している <span style="float: right;">○非該当</span>
	サブカテゴリー1の講評	
	<p>しおり、ホームページにより情報を発信している</p> <p>入園のしおりには、理念・目標および活動内容等概要が丁寧に記されており、園の様子を理解することができる。また区のホームページにも一覧および園の概要が掲載されており、多くの方々が園の存在を知ることができるよう配慮されている。法人ホームページについては、職員募集についての効用等に鑑み、来年度リニューアルを予定している。</p> <p>入園のしおりを変更するなど園への理解が深まるよう努めている</p> <p>入園者だけでなく希望者に対しても入園のしおりを配布しており、入園にあたっての心配に対して配慮するよう努めている。入園のしおりについては、保護者が準備する持ち物について写真入りの解説をつけるなどの変更が加えられている。またしおりと一緒に昨年受審した福祉サービス第三者評価の結果についても配布し、園への理解が深まるよう努めている。</p> <p>入園希望者に対しては園の特長や方針を伝えている</p> <p>見学希望の問い合わせが多数あり、月に2回程度の見学会を開催し、対応を図っている。園の特長である「国語教室や英語活動などの教育的側面に注力していること」、「病後児保育を実施していること」をはじめ、職員配置、散歩等戸外活動の内容、延長保育への対応等については丁寧に説明に努め、園の方針を理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	
	サブカテゴリー2	
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
	評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <span style="float: right;">評点(000)</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している <span style="float: right;">○非該当</span>

<b>評価項目2</b> サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<b>サブカテゴリー2の講評</b>		
<p><b>入園時には留意事項を説明し、入園への不安を払拭するよう努めている</b>          入園時には説明会を開催し、入園のしおり・重要事項説明書を用いて利用時間、職員構成、緊急時対応等留意事項を説明している。登園基準、感染症対応、急変時の連絡方法等については丁寧な説明により理解を求めている。また全保護者に日程の希望を聞いたうえで個人面談を実施しており、家庭との連携を深め、初めて保育園に通う保護者に対しても配慮するよう取り組んでいる。</p> <p><b>入園当初は特に柔軟に対応した保育を実践している</b>          入園時には子どもたちに安全・安心に過ごしてもらえること、保護者に寄り添う支援を念頭に安定した園運営が心掛けられている。特に入園当初の慣らし保育については、予定をたて保護者の就業等一人ひとりの状況を考慮し、柔軟な対応を心がけている。方針としては継続するものの、保護者へのわかりやすさや就業先の理解を得るために慣らし保育のモデルやプログラムを作成することも検討している。</p> <p><b>卒園児の輩出にあたり、小学校との連携に取り組む意向をもっている</b>          引っ越しや兄弟の都合によりやむなく転園をする際もスムーズな移行となるよう配慮に努めている。また来年度初めて年長児童の保育と卒園児の輩出を迎える。日頃より地域との協調に努めているが更に小学校との連携を深め、就学に対しても他の取り組み同様丁寧かつ継続性のある支援を実践する意向をもっている。</p>		
<b>サブカテゴリー3</b>		
<b>3</b>	<b>個別状況の記録と計画策定</b>	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 <b>12/12</b>
<b>評価項目1</b> 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当

評価項目3

子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

サブカテゴリー3の講評

家庭での様子を把握し、安心して園で生活できるよう環境の整備にあたっている

入園時には家庭状況調査票をはじめ、子どもたちの健康・生活状態について書類を提出してもらい、その後の園生活の環境を整えるために役立てられている。特に食物アレルギー等配慮が必要な子どもについては安全に生活できるよう対応を図っている。また保育日誌等を通じて子どもたちの情報を共有し、園全体で見守れるよう努めている。

期間ごとに目標、ねらい、留意事項等を定めた指導計画が立案されている

年齢ごとに保育全体の計画が策定されており、年間目標、ねらい、指導内容の視点等が記載されている。また、これらを落とし込む形で月・週の指導計画が定められ、具体的プログラム・活動・留意事項が検討されている。今年度の保育所保育指針の改訂にあたっては、読み合わせ等の勉強会を開催しており、担当するクラスに該当する事項については特に理解するよう指導にあたっている。

期間ごとの反省を次期に活かすよう努めている

年間指導計画をもとに月案、週案が策定されている。日々の保育との整合性が図れるよう管理と指導に努めており、期間ごとの反省や評価が次期に繋げるよう意識した保育を実践している。また毎日のミーティングおよび伝達表を活用して引き継ぎを行い、子ども・保護者の情報をもれなく伝えるよう取り組んでいる。現在パソコンは園全体で10台以上を使用しているがリアルタイムでの情報共有を可能とすることも検討議題としてあげられている。

サブカテゴリ-5			
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	
サブカテゴリ-5の講評			
<p>プライバシーに配慮した造りと職員への指導がなされている</p> <p>道路からは、園庭や保育室が見えない造りとなっており、子どもたちが安心して遊び・過ごすことができる環境が整えられている。またオートロック・防犯カメラの設置などプライバシーとセキュリティが保全されている。おむつ替え・着替え・プール活動等も遮光ネットやホワイトボードを活用し子どもの羞恥心に配慮するよう努めている。</p> <p>職員自己評価を使用し、子どもを尊重した保育となるよう指導している</p> <p>職員自己評価等を使用し、子どもたち一人ひとりの尊重について指導・周知を図っている。職員は身近に接する大人として子どもたちの見本となることを求められており、適切な対応がとれよう職員の指導にあっている。また子どもたちばかりでなく職員のプライバシーについても環境の整備に努めており、休憩室・更衣室等が準備されている。</p> <p>個人情報の利用目的を定め同意を得ている</p> <p>法人ホームページには個人情報保護方針が謳われており、その中で、「個人情報の利用について・個人情報の第三者への提供について」記載がなされている。個人情報保護法第23条に定める以外同意を得ることなく第三者に提供しないことを約しており、適切な取り扱いに取り組んでいる。また入園時には個人情報の利用目的を定めた書面を配布・説明し、同意を得ている。</p>			
サブカテゴリ-6			
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当

サブカテゴリ-6の講評

職員による差異が出ないよう職員会議等で指導にあたっている

看護、食育、英語活動、絵本の読み聞かせ、玩具点検、園庭管理などのマニュアルが整備されており、子どもたちが安心して過ごせるよう業務の標準化にあたっている。職員により保育や姿勢に差異がでないよう職員会議を中心に指導を図っている。また勤務時間帯別の業務マニュアルも設定しており、効率的かつ責任ある業務となるよう取り組んでいる。

職員が成長できるようクラス配置等を考慮している

新入職員に対しては外部研修を受講し、基礎的なことの習得を図っている。また年齢別のクラスに対する人員配置については、新入職員を含め職員の経験を配慮しており、職員の成長に繋がるよう・バランスの良い職員体制となるよう努めている。充実した園内・園外の研修計画が立てられており、専門職としての自覚を更に伸ばしていけるよう取り組んでいる。

留意事項は回覧・押印により周知を図っている

留意・重要事項については書面で回覧の後押印にて確認をするなど周知を図っている。業務についてもチェックリストを設け、確実に実行されるよう取り組んでいる。また月間・週間の指導計画は決まった職員が作成するのではなく、皆で順に作成し、共有を図る仕組みも構築されている。



Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	34 / 34
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇)・非該当1	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつぎ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
○あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		●非該当
評価項目1の講評			
<p>縦割り保育の中で異年齢に対する優しさやいたわりを培っている                      保育室はクラスごとに壁で仕切られている部分と空間を共有している部分とが共存した工夫した造りとなっており、クラスに閉じこもらない保育を実践している。定期的に縦割り保育を実施しており、異年齢に対する優しさやいたわりを培い、生活する中で人間関係を構築できる保育を目指している。来年度は、給食を縦割りで行う機会を増やすことも検討している。</p> <p>関係機関との連携等により子どもの成長をサポートしている                      配慮が必要な子どもに対しては子ども家庭支援センターや行政等関係機関と連携し、支援に努めている。巡回指導時など報告・連絡を通して情報の共有に努めており、密なる連携をもって子どもにとって最善の支援提供ができるよう協力している。また外国籍の保護者等に対しても丁寧に説明し、保育園生活で困ることがないようにサポートにあたっている。</p> <p>子どもの気持ちを尊重し、トラブル等の対応にあたっている                      成長の過程で起こる子ども同士のトラブルについては園の責任であることを認識したうえで、子どもの気持ちを尊重し、皆で育てていく環境であることを理解してもらえよう取り組んでいる。またかみつぎ等については、ヒヤリハット報告書等の回覧を通して注意喚起に努めており、要因分析をもって再発の防止策を講じるよう取り組んでいる。</p>			
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当

評価項目2の講評

視診と連絡帳の確認により家庭での状況を把握している

登園時には顔色、健康状態を視診し、保護者とのコミュニケーションをもって子どもの状態の把握に努めている。また降園時以降の喫食・健康状況についても連絡帳等にて確認し、把握したうえで保育の臨むよう取り組んでいる。園での様子や連絡事項は伝達表に記録し、口頭での留意と共に引き継がれている。保健計画の配布、園内の衛生・保健情報の掲示を通して家庭と連携しながら子どもの健康維持にあたっている。

歯磨きをはじめ丁寧な対応により生活習慣の習得にあたっている

トイレトレーニングについては園が主導するかたちで家庭の意向を伺い、無理強いすることなく自然に身につけられるよう取り組んでいる。また離乳食についても栄養士が中心となり、家庭での喫食状況を確認しながらメニューの策定がなされている。特に歯磨きについては低年齢児からはじめ、最後は職員による仕上げ磨きをするなどがなされている。

子どもの将来にとって役立つことを実践し、身につくよう援助している

思い切り遊ぶ・きちんと話を聞くなど場面ごとにメリハリを大事にした保育を実践している。午睡時のパジャマの着用については、着脱を覚えることを主眼として行われており、中履きの使用等についても保護者に対して子どもたちの成長を願う園の思いを説明した上で実施している。就学以降を見据え、子どもたちの将来にとって役立つことの実践に努めている。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

継続して取り組む・子ども同士で教え合うことを大事にルールや決まりを教えている

当番が前に出て発表をする機会をつくるなど皆の前で自己を表現する機会を日常から持ち、慣れるよう取り組んでいる。またきちんと話を聞く、列をつくる、挨拶をする、整理整頓をするなど決まりやルールを教え、就学後の生活を見据えながら取り組んでいる。またこれらルールは子どもたち同士で教え合う環境作りに努めており、継続して丁寧に教えることを重視している。

国語・英語教室により自然に表現を学べる環境を提供している

国語教室、英語活動など外部講師を招いての教育がなされており、積極的に表現教育に取り組んでいる。またピアノにあわせての合唱、体操・ダンス教室など体を使って楽しむことも取り入れ、総合的な指導となるよう環境設定がなされている。また制作活動を集中して行える工作室も設置しており、今後は外部講師を招いての製作教室の実施も検討している。

思い切り戸外で遊ぶことができるスペースを有している

園庭は遊具等に工夫が凝らされており、夕方でも子どもたちが元気に遊ぶことができるスペースを有している。また近隣には大小複数の公園や神社がある恵まれた環境にあり、散歩等皆ででかけ、楽しい活動がなされている。また夏季のプール活動をはじめ、園庭からダイレクトに入ることができるシャワールームが整えられていることから本園が思い切り戸外であそぶことに注力していることが理解できる。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目4の講評

**行事等の設定が定まり、園独自の色が出されている**

年間行事計画および行事計画書が立案されており、スケジュール、工程など綿密な計画となっている。生活発表会は、日々の保育内容や成長の成果を保護者に理解してもらえる内容となっており、他の行事との関係から時期を早めるなどの変更がなされている。開設より2年が経過する中で行事のかたちが固まりつつあり、園独自の色が出せるようになってきたことを自認している。今後は子どもの動きを保護者に見てもらえるような機会を増やす意向をもっている。

**高齢者との触れ合いが継続されており、浸透している**

高齢者施設との複合施設として設置されており、すぐに交流ができる・身近に高齢者の生活を感じられる環境となっている。高齢者施設の運営にも携わるスペシャリストが園の管理に参画していることから保護者の心配を払拭し、無理のない交流・適切な対応がなされている。開園当初は心配をしていた保護者もいたが、継続した取り組みにより園の特長として認知されている。

**本物に触れる機会を提供するなど様々な行事が実施されている**

近隣に大型の体育館や中学校を有する恵まれた環境を活かし、運動会・生活発表会等の行事の際に協力を依頼している。毎月の誕生会、クリスマス会、敬老会、お月見会など季節の行事を多様に取り入れ、伝統の承継にも寄与出来るよう取り組んでいる。年に4回の芸術鑑賞会に参加しており、子どもたちが本物に触れることで興味や関心を引き出せるよう取り組んでいる。

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当

評価項目5の講評

**長時間に渡る場合も子どもの興味が継続するよう工夫に努めている**

0歳、1歳の部屋は畳が敷かれており、ゆったりと過ごすことができる十分なスペースが確保された環境となっている。また医務室の設置、看護師の配置により体調を崩した子どもに対しても適切な対応がとれるよう体制が構築されている。保育が長時間に渡る場合であっても遊び等に飽きないよう職員が工夫した取り組みをするよう指導にあたっている。

**特性に応じた声掛けや遊びにより一日中楽しく過ごせるよう取り組んでいる**

一定の時間以降は、合同保育を実施しており、異年齢による遊びにおいても安全が確保されるよう職員間で連携を図りながら見守りがなされている。また家庭での睡眠や喫食状態を確認し、総合的に衛生と安全が確保されるよう取り組んでいる。担当であるないに関わらず、全職員がすべての子どもと保護者を把握し、子どもの特性に応じた声掛けや遊びを通して一日中楽しく過ごせる場所となるよう心がけられている。

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>バイキング形式の食事は子どもたちの成長を考慮し取り組んでいる</p> <p>定期において給食会議を開催し、子どもたちの嗜好、喫食状況、野菜の切り方や固さなどの提供状態の意見交換をし、より良い給食提供への参考としている。また栄養士が直接、実際の配膳や喫食状況を確認しており、連携をとりながら安全で健康な食事が実施されるよう取り組んでいる。またバイキング形式の食事は、子どもたちが楽しく食事をする事と共に、自身における食事量の調節や責任感を養うことも目的として行われている。</p> <p>子どもの体調に沿った・安全な食事提供にあっている</p> <p>食物アレルギーを持つ子どもに対しては、給食会議での確認、保護者への通達、日々の確認がなされており、安全に対するオペレーションが確立している。また提供の際には、トレーの色やテーブルを状況に応じて変えるなど万全を期すよう取り組んでいる。また給食の保管時間についても徹底し、食中毒防止にあっている。</p> <p>食を身近に感じられるよう積極的な食育活動がなされている</p> <p>子どもたちが食を身近に感じられるよう、野菜の栽培、おにぎり・うどんづくり、食材に触れるクッキング保育など多様な食育活動が取り入れられている。また子どもたちも給食作りに参加するなど積極的な食育活動がなされている。旬の素材の活用、食を通して人と関わることの楽しさ、食習慣を通して決まりを覚えることなどを大切に活動が多様になされている。</p>		
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当

評価項目7の講評

丁寧な対応、徹底した指導により安全な歯磨きがなされている

歯磨きについては職員による仕上げ磨きがなされており、子どもたちに対しても安全に行うよう徹底した指導がなされている。また、朝の視診、体温チェック、清掃分担、医務室の設置など子どもたちが健やかに過ごすための環境を整えるよう取り組んでいる。保健計画の立案、保健だよりの保護者への配布を通して保健衛生への関心をもってもらえるよう取り組んでいる。

ブラックライトを使用して手洗い指導をするなど工夫した試みがなされている

手洗いといういの励行、消毒、保護者への注意喚起等により感染症蔓延予防に対策を講じている。また夏まつりの際にブラックライトを活用して手洗い指導をするなど工夫した試みがなされている。また、病後児保育が併設されており、園および地域の保護者に寄与する活動がなされている。担当者の配置、専用の入り口、隔離室が設置されるなど安全対策についても万全を期している。

職員の事故予防への意識付けに対して継続した指導を行っている

ヒヤリハット報告書については、職員の意識付けに対して継続して指導を行っており、職員自身が事故を未然に防ぐためのセンサーを持つよう啓発にあたっている。また、SIDS(乳幼児突然死症候群)の予防として、午睡時の定間隔でのチェックと記録、キッズベッドの使用など対策を講じている。また事故報告書、ヒヤリハット報告書が設置されており、要因分析、周知、情報共有により再発・事故防止に取り組んでいる。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目8の講評

保護者の就労に配慮した支援に努めている

延長保育の実施、慣らし保育の短縮等保護者の就労を考慮した支援に努めている。紙おむつの園での廃棄は、衛生面だけでなく保護者への負担をなるべく軽減できるよう配慮して実施している。また病後児保育については、在園児の利用も多く、働く保護者へ心強いサポートとなっている。

保育参観等により保護者同士の交流、職員と保護者の関係構築にあたっている

入園時には個人面談を実施しており、各家庭の要望や意見を聴取している。昨年度の保護者アンケートの意見を反映し入園時ばかりでなく随時希望者は個人面談をできるようにしており、子どもの成長のことばかりでなく福祉全般についての相談に応じている。また保護者会役員会が定期開催されており、日時の設定や時間については保護者の負担とならないよう配慮に努めている。保育参観はいつでも受け入れがなされており、行事と共に子どもたちの成長を見てもらう場として、保護者同士および職員との信頼関係構築の機会としても活用しに努めている。

登降園時の声掛け等により保護者とのコミュニケーションを図っている

登降園時の声掛け、連絡帳でのやりとりを通して家庭での状況や健康状態の情報を把握している。また保護者が参加する行事等でもコミュニケーションを図り、信頼関係が構築できるよう取り組んでいる。保育士体験等の取り組みについては保護者の意向やスケジュール等に鑑み、今後の検討事項としている。

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>恵まれた社会資源を活用し、様々な体験ができるよう取り組んでいる          区の図書サービスの利用、中学校、公園、体育館の活用など地域の社会資源を使い、地域とともに子どもを育てる環境となるよう取り組んでいる。近隣には神社があり、お祭り時に神輿を見学するなど伝統文化に触れる機会ともなっている。また施設内だけでなく、地域の高齢者と関わることも今後の目標としている。</p> <p>世代間による交流を深めるコンセプトの基、活動がなされている          介護保険地域密着型サービスと併設されており、地域交流・世代間交流について重視したコンセプトを持っている。事業計画への盛り込み、具体的施策の実施等そのコンセプトに沿った活動がなされている。来年度は卒園生を輩出することから、地域の保育園と連携し、近隣の小学校との交流を更に深めていく意向をもっている。</p>		

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリー1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 <b>7/7</b>
	<b>評価項目1</b> 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している <span style="float:right">評点(〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float:right">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float:right">○非該当</span>
	<b>評価項目2</b> 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <span style="float:right">評点(〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float:right">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <span style="float:right">○非該当</span>
	<b>評価項目3</b> 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している <span style="float:right">評点(〇〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <span style="float:right">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <span style="float:right">○非該当</span>
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えていく <span style="float:right">○非該当</span>
	カテゴリー1の講評	
	理念の浸透に対して効果と結果が表れている 事業計画には経営方針・保育理念・保育目標等が記されており、職員に対して法人・園の考えを伝えている。また入園のしおり・ホームページには、教育・保育理念、教育・保育目標、基本方針、主な取り組みが紹介されており、保護者・地域に向けて情報を発信している。開設より2年目を終えようとしている中、本評価の各種調査を通じて職員・利用者ともに理念が浸透してきていることが結果として表れている。	
	「みんなのために」業務を行うよう指導にあたっている アウル宮前保育園職務分担表と題し、年度ごとに園長以下の職務について記名式にて明確化されている。園長は法人内他園でのノウハウについて継承するところ・地域に即して変更するところを見極め、本園の保育を形成に尽力している。また職員会議や日々の指導の中で法人の方針を教えるとともに職員が子ども・保護者・他の職員を含め「みんなのために」配慮しながら業務を行うよう指導にあたっている。	
	リーダーを中心に職員の繋がりの形成を実感している 法人本部および他施設との会議を開催しており、決定事項を職員へ伝達することで園全体で方針と情報を共有するよう取り組んでいる。開設より2年度が経過する中で、特にリーダーを中心とし、1年を踏まえた計画性と自分たちで話し合う土壌が形成され、職員の繋がりが出来てきたことを実感している。各種会議についても議題や決定事項について浸透と定着が図られている。	

カテゴリ2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリ1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリ2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当



## カテゴリー2の講評

### 保護者からの意向を運営に取り入れるべく意見聴取に努めている

送迎時等でのコミュニケーションや連絡帳を中心に保護者からの意見聴取に努めている。役員会により保護者の意見が集約されており、保護者から直接要望や意見を聞ける貴重な場として機能している。また土地土地での違いを認識し、そこに居住する方々の意見を尊重するよう努めている。特に地域の福祉ニーズについては、区が開催する地域懇談会にて収集しており、地域と共存した保育が実践されるよう取り組んでいる。

### 中期および年度の事業計画が明示・周知されている

平成29年度より3年度に渡る中期計画が策定されており、組織の醸成・設備の整備、人事労務および経営基盤の確立等が示されている。年度の事業計画は、保育活動、安全管理体制、職員研修、行事予定などが記載されており、園の活動を明示している。また入園のしおりにも同様の内容が掲載されており、保護者にわかりやすいよう工夫されている

### 昨年度の経験と環境を踏まえ、進捗と改善にあたっている

園長の管理のもと月案・週案の策定がなされており、具体的保育の計画および進捗が確認されている。各種会合を通じて職員連携を図り、園全体で情報を共有しながら運営が進められている。開設より1年目は法人の既設置園の意見を参考にしていたが、昨年度の経験や環境の違いを踏まえて保育を実践するよう取り組んでいる。

カテゴリ-3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリ-2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリ-3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当

カテゴリー3の講評

自身の持つ専門性を発揮し保育士として意識が高まるよう指導にあたっている

職務についての自己評価を実施しており、自身の業務を振り返るためのツールを整備している。また倫理規程が定められており、子どもの安全と健康を守るものとして児童福祉に資する姿勢が示されている。保育に従事する者として自身が持つ専門性の発揮、日常からの体調管理、自己啓発の姿勢などの意識を高められるよう日々の指導にあたっている。

実習生の受け入れ等に注力する予定をもっている

個人情報保護、事故防止等が定められたボランティア受入規程が設置されており、体制が整備されている。隣接する中学校とは親睦を深めており、就労体験への協力がなされている。来年度は開園から3年度目を迎え、運営にも落ち着きが出てきたことから行事等での卒園児の招待、実習生の受け入れなどに注力する予定をもっている。

地域のネットワークへの参加により情報収集にあたっている

区の保育園長会、病後児保育連絡会、地域懇談会等のネットワークに参加し、地域の情報収集にあたるとともに地域の児童福祉の課題に対して協働して取り組むよう努めている。ネットワークの活用により他園への見学や交流がなされており、参考となる事案については取り入れるなど情報収集の場としても活用にあたっている。また子ども家庭支援センター等関係機関に協力し、地域の児童福祉への貢献を果たすよう取り組んでいる。

カテゴリ-4	
4	リスクマネジメント
サブカテゴリ-1(4-1)	
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる	評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている
○非該当	
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている
○非該当	
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している
○非該当	
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる
○非該当	
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる
○非該当	
サブカテゴリ-2(4-2)	
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている	評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている
○非該当	
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している
○非該当	
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている
○非該当	
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している
○非該当	
カテゴリ-4の講評	
<p><b>安全・安心のために種々の対策が講じられている</b>          火災・地震・不審者などの想定のもと避難訓練が毎月行われている。また防犯カメラ・各種ロック・安全管理マニュアルの設置等セキュリティ設備が完備しており、子どもを安心して預けるための環境が整えられている。パートタイマーを含む全職員へのAED研修、ヒヤリハット報告書への職員の意識付け・インフルエンザ流行時の玄関での引き取り・学校110番への協力など種々の安全対策が講じられている。</p> <p><b>ICTの活用範囲を検討課題としている</b>          児童家庭調査票をはじめとする子ども・家庭に関する重要書類についてはファイリングし、鍵付きのキャビネットにて保管がなされている。また保管書類だけでなく、連絡帳等についても入れ間違いを防止し、総合的に個人情報の保護にあたるよう取り組んでいる。今後は連絡帳などICTをどこまで活用するかを検討課題としている。</p> <p><b>個人情報の取り扱いについて明示と説明がなされている</b>          重要事項説明書には、個人情報の守秘、徹底管理、必要時の協力を謳い、説明にあたっており、入園時には個人情報の利用目的について同意を得ている。またプライバシーポリシーと題し、個人情報の取得・利用・第三者提供・開示請求について定め、公表がなされている。ボランティア受入規程にも受け入れ時の注意事項が定められている。個人情報の取扱いについて明確にし、適切な対応と園児および家庭の情報が保護されるよう体制の整備がなされている。</p>	

カテゴリ5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賞金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当

サブカテゴリ-2(5-2)

組織力の向上に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の  
標準項目実施状況

3/3

評価項目1

組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に  
取り組んでいる

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

カテゴリ-5の講評

多様な機関・メディアの活用により人材の確保にあたっている

人材の募集については多様な機関・メディアを活用し、本園の保育を實踐できる人材の確保にあたっている。また職員配置については、どの年齢でも担任できるよう幅広い知識を身につけることを目指しているものの、職員の希望や適性に鑑みながらクラス配置を決定している。職員会議についても日中から夕方に開催することで、できるだけ多くの職員が参加できるよう工夫している。

キャリアパスの設定、研修参加等を通して職員の育成に取り組んでいる

細かな職務・役割についての職務分担表への明記、研修計画の策定等キャリアパスの設定による処遇改善計画の実行がなされている。年度の園内・園外研修計画が立てられており、研修内容・参加職員等が月別に示されている。実務にすぐに役立つ、子どもの遊びの充実のための研修等にも参加しており、コミュニケーションや記録のスキル向上についても来年度以降外部研修の参加を予定している。

職員の働きやすさ向上を図っている

職務・職種による手当創設など職員の処遇向上にあたっている。勤務体制についても細かく設定しており、職員が働きやすいよう配慮したシフト作成にあたっている。また休憩所や更衣室にも十分なスペースが確保されており、職員の労働環境の向上を考慮した造りになっている。行事等職員の負担軽減による時間外労働の削減、希望する日程での公休設定、有給休暇の取得促進等職員の働きやすさについても向上を図っている。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

平成29年度より開設のため、開設初年度として様々な事項に対して試みを行っている。同施設内に高齢者施設を併設しており、高齢者との交流を通して地域への貢献を果たし、また子どもたちが多様な経験を積めるよう取り組んでいる。交流を図ったものの、開園1年目として安定した園運営の確立に努めたことから活発な・日常的な交流までには至らなかった。園運営の安定と共に日常的な交流が増え、平成30年度の活発な交流に繋がられている。

<p>目標の設定と 取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</li> </ul>
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</li> <li><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</li> <li><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

高齢者施設と同居したかたちでの開設は、保育と介護の連携として大きな期待と注目を集めていた。互いに開設1年目であることから運営の安定を図ることを最重視しており、交流はあるものの活発な親睦には至っていなかったが、安定とともに交流を図り、高齢者に喜んでもらえる活動を行えるようになっていく。また日頃高齢者と接する機会が少ない子どもたちにとっても貴重な経験となっていることが認識されている。平成30年度は更に交流が増していき、近隣の他施設等に対しても訪問していくことを目標としている。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

子どもたちが安心して過ごせる環境を構築することが第一の使命であり、防犯カメラ・各種ロック・安全管理マニュアルの設置等セキュリティ設備を完備して開園がなされている。ヒヤリハット報告に対する職員への意識付けを図り、報告件数の増加等により危険箇所や時間帯の把握に繋がられている。また毎月の避難訓練についても、時間帯別に行うなど細部に配慮して行われている。外部研修への参加、マニュアルの改善等平成30年度に繋がられている。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</li> </ul>
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</li> <li><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む)</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</li> <li><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

子どもの安全を確保することについて重要命題として認識しており、避難訓練の計画・実施、各種リスクマニュアルの完備がなされている。開設より1年を通して経験した事項を把握し、翌年度の安全対策がとられており、インフルエンザ流行時の玄関での預かり、子ども110番への加入などもなされている。特に事故について事前に対策を図る「予防」についての意識向上を図っており、指導の結果、ヒヤリハット報告書の報告数が増加を確認している。



## 調査対象

全園児115名に対する全105世帯の保護者等を単位・対象として実施。

## 調査方法

アンケート方式  
事業所より利用者調査票を各世帯に配布。回収ボックスの設置、専用の提出用封書の配布等プライバシーに配慮した。

利用者総数  
利用者家族総数(世帯)  
共通評価項目による調査対象者数  
共通評価項目による調査の有効回答者数  
利用者家族総数に対する回答者割合(%)

利用者総数	115
利用者家族総数(世帯)	105
共通評価項目による調査対象者数	105
共通評価項目による調査の有効回答者数	85
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	81.0

## 利用者調査全体のコメント

・園の総合的感想については、「大変満足」が56.5パーセント、「満足」が35.3パーセント、「どちらともいえない」が7.1パーセント、「不満」が1.2パーセント、「大変不満」が0パーセント、「無回答」が0パーセントとなっている。【感謝・賞賛】保育姿勢、細かな連絡、カリキュラム・行事・食事の充実、丁寧な対応、子ども同士の関わりへの対応、余裕のある体制、成長を感じられる環境、延長保育対応、行事設定の配慮 穏やかな雰囲気、清潔、要望への対応、家庭でできない経験【不満・要望】受け入れ体制、費用負担の高さ、音楽・戸外活動の増加、行事の動画販売、行事の進行、伝達事項の不達、基本的な生活習慣への取り組み、見守り姿勢、写真の内容、病後児保育の改善、職員の子どもへの接遇姿勢、保育内容の伝達、子どもの行動への職員の関わり、熱中症対策、教材の選定、定員増、保育参観の導入、駐車への指導、体育活動の増加、連絡の早期化、行事の難化、保護者の負担増、子どもと職員の数比率 【本調査への意見】判断のしづらさ、回答者特定への不安、アンケートへの賛同、選択肢の増加、不満の無さの実感、開始時期の広報方法、改善への活用の教示等の意見があった。

## 利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	81	4	0	0
「はい:役立っている」が95.3パーセント、「どちらともいえない」が4.7パーセント、「いいえ」が0パーセント、「無回答・非該当」が0パーセントの回答となっている。異年齢交流への賛同、子どもの楽しみながらの通園に対して賞賛の声があった。また運動活動の増加や他園との比較の声があった。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	79	6	0	0
「はい:なっている」が92.9パーセント、「どちらともいえない」が7.1パーセント、「いいえ」が0パーセント、「無回答・非該当」が0パーセントの回答となっている。制作活動の充実、活動への工夫に対して賞賛の声があった。行事設定の高さ、クラブ活動の導入、他園との比較、運動活動増加等の要望・不満の声があった。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	82	2	0	1
「はい:配慮されている」が96.5パーセント、「どちらともいえない」が2.4パーセント、「いいえ」が0パーセント、「無回答・非該当」が1.2パーセントの回答となっている。味への賞賛、バイキング等の実施、多様な献立等について賞賛の声があった。アレルギーの段階的解除への対応、他園との比較、行事食の日程設定等について不満・要望の声があった。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	67	14	4	0
「はい:関わっている」が78.8パーセント、「どちらともいえない」が16.5パーセント、「いいえ」が4.7パーセント、「無回答・非該当」が0パーセントの回答となっている。食育、行事の工夫等の賞賛の声があった。戸外活動の増加の意見が多数あり、他園のとの比較意見もあった。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	56	7	0	22
「はい:対応されている」が65.9パーセント、「どちらともいえない」が8.2パーセント、「いいえ」が0パーセント、「無回答・非該当」が25.9パーセントの回答となっている。柔軟な対応への感謝の声が多数あった。また延長保育経験がない旨の意見もあった。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	67	16	2	0
「はい:対応されている」が78.8パーセント、「どちらともいえない」が18.8パーセント、「いいえ」が2.4パーセント、「無回答・非該当」が0パーセントの回答となっている。職員の見守り姿勢、手洗い場の混雑、セキュリティへの不安、玄関の安全性、自転車置き場の明るさ等への要望・不満の声があった。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	71	10	4	0
「はい:十分である」が83.5パーセント、「どちらともいえない」が11.8パーセント、「いいえ」が4.7パーセント、「無回答・非該当」が0パーセントの回答となっている。行事設定への配慮、早期の連絡への賛辞の声があった。また、時間の長さ、時間設定、曜日設定、連絡の早期化、保育参観の自由化などの要望があった。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	68	14	3	0
「はい:信頼関係がある」が80.0パーセント、「どちらともいえない」が16.5パーセント、「いいえ」が3.5パーセント、「無回答・非該当」が0パーセントの回答となっている。日々の報告、トラブルへの対応、対応への感謝等の賛辞の声があった。また連絡のしづらさ、担任とのコミュニケーション機会、職員による違い等の不満の声があった。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	84	1	0	0
「はい:行き届いている」が98.8パーセント、「どちらともいえない」が1.2パーセント、「いいえ」が0パーセント、「無回答・非該当」が0パーセントの回答となっている。清潔への賛辞の声があった。過度の清潔による子どもの生活しやすさを心配する声があった。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	73	10	2	0
「はい:適切である」が85.9パーセント、「どちらともいえない」が11.8パーセント、「いいえ」が2.4パーセント、「無回答・非該当」が0パーセントの回答となっている。職員の接遇、職員による差異について不満の声があった。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	73	8	1	3
「はい:信頼できる」が85.9パーセント、「どちらともいえない」が9.4パーセント、「いいえ」が1.2パーセント、「無回答・非該当」が3.5パーセントの回答となっている。細かな情報共有、対応の柔軟さ、手厚い対応について賛辞の声があった。柔軟な対応、早期の連絡、ケガ時の説明について要望の声があった。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	56	12	1	16
「はい:信頼できる」が65.9パーセント、「どちらともいえない」が14.1パーセント、「いいえ」が1.2パーセント、「無回答・非該当」が18.8パーセントの回答となっている。詳細の説明を求める声、ルールの厳格化等の意見があった。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	74	9	1	1
「はい:対応されている」が87.1パーセント、「どちらともいえない」が10.6パーセント、「いいえ」が1.2パーセント、「無回答・非該当」が1.2パーセントの回答となっている。特に意見はなかった。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	66	3	0	16
「はい:守られている」が77.6パーセント、「どちらともいえない」が3.5パーセント、「いいえ」が0パーセント、「無回答・非該当」が18.8パーセントの回答となっている。不明である旨の意見があった。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	69	10	5	1
「はい:わかりやすい」が81.2パーセント、「どちらともいえない」が11.8パーセント、「いいえ」が5.9パーセント、「無回答・非該当」が1.2パーセントの回答となっている。不明事項がある、話をもっと聞きたい、連絡帳の内容の充実等の意見があった。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	58	12	2	13
「はい:対応されている」が68.2パーセント、「どちらともいえない」が14.1パーセント、「いいえ」が2.4パーセント、「無回答・非該当」が15.3パーセントの回答となっている。真摯な対応について賛辞の声が複数あった。職員の情報共有、対応への不満、アンケート実施の要望の声があった。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	38	11	8	28
「はい:伝えられている」が44.7パーセント、「どちらともいえない」が12.9パーセント、「いいえ」が9.4パーセント、「無回答・非該当」が32.9パーセントの回答となっている。説明方法について不満の声があった。				

1	<p><b>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</b></p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1)法人理念「みんなのために」 2)豊かに表現できる子(知育) 3)思いやりのある子(徳育) 4)元気で丈夫な子(体育)</p>
2	<p><b>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</b></p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>「みんなのために」という法人理念に基づき、利用者のことを思い、利用者の家族のことを思い、職員の家族を思うことができ、そして地域に貢献するという意識の高い人材。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>専門職としての自覚を持ち、常に向上心を持って、自己努力をし続けること。</p>